

## 議 事 録

- 1 会議名 平成25年度第1回さぬき市総合計画審議会
- 2 日 時 平成25年5月29日(水) 9:00～11:10
- 3 場 所 さぬき市役所4階第2委員会
- 4 出席者 (出席委員)  
岩田委員 楊盧木委員 金岡委員 工藤委員 多田委員 田村委員  
平野委員 古川委員 満濃委員 吉田委員 頼富委員
- (市)  
大山市長 菊池総務部長  
総務部政策課(事務局) 向井課長 津村係長
- 5 傍聴者 0人
- 6 会議次第 (委嘱状の交付)
- 1 開会
  - 2 市長挨拶
  - 3 自己紹介
  - 4 議事
    - (1) 会長・副会長の選任について
    - (2) さぬき市総合計画の策定について
    - (3) 平成25年度スケジュールについて
    - (4) 市民アンケート調査について
  - 5 その他
    - (1) 次回審議会について
  - 6 閉会

### 7 議事の経過及び発言要旨

< 開 会 > ( 9 : 0 0 )

事務局 ただいまからさぬき市総合計画審議会を開催致します。開会にあたりまして、大山市長よりご挨拶を申し上げます。

市長 <市長挨拶>

事務局 委員の皆様には本日初めてのお顔合わせという事になりますので、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。

各委員 <自己紹介>

事務局 それでは議事に入ります。

議題の1 会長と副会長の選任を行います。総合計画審議会条例第4条第1項の規定によりまして、委員の皆様のご信任によって定める事となっておりますけれどもいかがいたしましょうか。

委員 事務局案がございましたら、お聞かせ願えませんか。

事務局 事務局と致しましては、会長に多田哲生委員、副会長に田村一良委員という事でお願いしたと思いますけれどもいかがでしょうか。

委員 <拍手>

事務局 ありがとうございます。それでは会長には多田哲生委員さん、副会長には田村一良委員さんという事でお願いいたします。  
続きまして大山市長から諮問書の交付を行いますので、代表して、多田会長にお受け取りいただきたいと思います。

市長 <諮問書交付>

事務局 今日のこれからの進行の打ち合わせをしますので、5分程度休憩します。(市長・総務部長退席)

<休憩>

事務局 それでは、再開致します。最初に正副会長を代表して多田会長からご挨拶をお願いしたいと思います。

会長 <会長挨拶>

事務局 それでは、これからの進行につきましては、多田会長の方で進めていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

会長 本日の会議ですが、11時を目途にしたいと思いますので、進行については、ご協力をお願いします。議題2、総合計画案の方針について事務局説明をお願いします。

事務局 <説明>

会長 ただいまの説明に関して、何かご意見ありますでしょうか。

委員 12年というのは今の説明でわかりますが、一回作った構想を、どのタイミングで見直すのですか。12年ずっとその構想でいくという事ですか。

事務局 基本構想に掲げた理念などは、計画期間である12年間見直しません。ただ、基本計画を作る段階で、人口などの数値などについては見直す場合があります。

委員 人口の減少あるいは増加が見込まれるとか、あるいは財政の問題が出てきて(構想を)見直したほうが良いとなった場合であっても、12年前に作った基本構想を変えないのはどうなのか、という事です。

事務局 基本構想の主は、まちづくりを進める際に基本とする理念ですので12年間変更する必要はないと思います。委員ご指摘の人口や財政といった流動的な内容については、中期や後期の基本計画を策定する際に見直していきます。

- 会長 他にどなたか。なければご説明ありがとうございました。  
続きまして、議題3に移ります。議題3、平成25年度のスケジュールについて事務局から説明してください。
- 事務局 <説明>
- 会長 ありがとうございます。ではただいまの説明に対して何かご意見はございますか。
- 委員 (子ども未来会議、ふるさと未来会議について) 今までにない取り組みだと思いません。期待しています。さぬき市誕生10周年記念で小中学生の作文コンクールがあり、ふるさとのいいところが書かれていました。今度は作文ではなくて、実際に皆と一緒にディスカッションできることに期待をしたいと思います。その他、子ども達の話以外にも、市民が、職員の皆さんとディスカッションできるという機会は今までなかったと思いますので、これにも期待ができると思います。(ふるさと未来会議の開催曜日が)日曜日であれば、平日の会議には出席しにくい働く人たちにも問題ないかと思いませんので、そういった意味からも期待したいと思います。
- 委員 市民アンケートですが、現行案でいいと思います。  
ただ、市民アンケートの前回回収率が、40%くらいだったと思います。だから、どうにかして、その回収率を高めるような方法をとることが大切だと思います。また、高校生の意見が反映されにくい気がします。自分の将来などについて、分岐点は高校生であったと思います。今、高校を出て、就職するにしても大学を選ぶにしても、(高校生は)将来の職業を考えると、構想期間が12年なので、今、17歳前後の高校生が自分の将来を考えたときの意見を(基本構想の中に)反映してもいいのではないかと思いますがいかがでしょうか。
- 委員 (子ども未来会議の参加者について) 各小中学校に推薦依頼するということですが、学校に依頼してしまうと学校の中で選ばれた子どもになってしまうと思いますので、私は、自治会や子ども会で活躍している子どもを、自治会の中で選べないものかと考えます。
- 委員 私はまだこちらにきて数年なのですが、私の住む地域ではご高齢の方が多くて、空き家が多くなっていて、お祭りの時には、ちょうさに乗っていただくお子さんが誰もいなくて、他の自治会に協力してもらったというお話を聞きました。(自治会で選ぶとなると)地域で格差が出てくるのではないかと心配です。
- 委員 子どもがいない、という現実はあると思います。いない所はいなりに意見を出せばいいですし、子どもがたくさんいるところはその中から数人を選ぶという形になるとは思いますが、どうでしょうか。
- 委員 自治会は300を超えてありますし、人選は大変だと思います。
- 委員 私が入っている自治会もそうですが、段々と子どもがいなくなり、小学校へ入学する子どもはほとんどいません。そのような自治会が(人選を)やることや、新しくできた団地などで最近設立したような自治会ではコミュニケーション不足も考えられるので、(人選は)学校にお任せしたほうが良いと思います。

委員 無作為抽出ですが、年齢別の無作為なんか、単純に、市民全体の18歳以上の人をポンポンポンと2500人お願いをするのですか？前のアンケートの時、民生委員が高齢者の自宅に伺ったときに、「こんなきたけど、出したらええんな、出さんでもええんな」と聞かれ、民生委員自身が知らないアンケートについて、突然、市民からぽーんと封筒を突き出されても対応が難しいのが現状です。この市民アンケートについても、「こういうアンケートをします」ということを民協事務局に連絡いただいたら、民生委員全員に「こういう無作為のアンケートがいきますので何か言われたら、回答してあげて下さいね」というアドバイスをします。

事務局 まず、高校生の意見の集め方ですが、ふるさと未来会議の応募資格を18歳以上ではなく、16歳以上にするのはいかがでしょうか。同封する市民アンケートは18歳以上を対象にしているのですが、18歳以上の方と16歳、17歳の方が一緒に申し込んでいただくことも可能になると思います。

また、子ども未来会議の参加者を学校に推薦いただくことについてですが、地域の子どもたちをよく知る地域の方に推薦いただくことは素晴らしいとは思いますが、公募にすると応募がない場合がありますし、自治会長に依頼すると（自治会長が）どのようにして人選すればいいのか悩まれると思いますので、やはり、子どもたちをよく知る学校に依頼し、推薦された子ども達が友達に意見を聞き、それらの意見も会議で発表してもらえることを期待し、各学校に依頼することにした経緯があります。もし、地域の中で選ぶとすれば、市はどなたに声かけしていくべきなのでしょうか。

委員 一番てっとり早いのは、子ども会だと思いますので、子ども会の会長宛てに文書を出せば事足りると思います。

委員 それもいいとは思いますが、少し横跳びするかもしれませんが、地域で子どもたちにポスターを募集する場合があります。地域によって、（ポスターが）出る所はいつも出る、出ない所は全然出ない。（今回も）出る所からだけの推薦がたくさんあっても（会議としては）難しいと思います。役員の力の入れ方によって、極端になると思います。また、聞いた・聞かないという話になる可能性もあると思います。

委員 自治会も子ども会もものすごい数があると思いますので、選ぶのは大変だと思います。

事務局 広く子ども達が参加できるよう、公募の枠を設けてケーブルテレビなどで周知し、それを見た子ども達から応募ができるように検討してみます。

委員 学校の推薦人数ですが、（児童の）少ない学校と多い学校あり、5、6年生で15、6人しかいない学校もあります。その中で2人をとるのか、50人60人100人近くいる中で2人なのかという事でまたそれも温度差が出てくると思います。

委員 中学校区で男女2人ずつ出てくださいというのも可能かと思います。さぬき市PTA連絡協議会がありますが、そちらの会長に小学校中学校区で人選をお願いします、と依頼できると思います。

事務局 委員のご意見を踏まえ、学校や教育委員会と相談しながら人数等を決定させていただきたいと思います。民生委員の皆さんへの連絡はぜひさせていただきたいのですが、所管課へアンケートを届けておけばよろしいのでしょうか。

委員 今日、私が出席しているので基本的な事はわかります。会長会を通じて各委員に連絡しますので、できるだけ早い時期に連絡ください。ケーブルテレビや広報紙を利用して周知してもらえると、そのニュースを見た民生委員に心づもりができると思います。

事務局 分かりました。事前にケーブルテレビで周知することと、回収率が上がるように、ケーブルテレビのニュースでもPRしたいと思います。音声告知でも、1回か数回程度、周知することも検討したいと思っています。

委員 音声告知はいいと思います。「アンケート記入して早く返送してください」って。

会長 たくさんの意見が出まして、確かに難しいとは思いますがぜひ検討してください。ふるさと未来会議についてですが、プラン1は、私の理解では広く深くやる、と。プラン2はコンパクト、市長や市の幹部を含め30人程度で開催する。どちらもテーマは同じですが、キーワードが少し違う。どちらが適当だと思うか意見をください。

委員 質問と意見があります。プラン1ではキーワードを4つ設定されていますが、キーワード以外の事を話そうと思ったらどうしたらいいですか。このキーワードには何か意味があってこの4つを選ばれているのか、どういう選び方をされたのでしょうか。あと1つ、さぬき市は広いので、例えば海側と山側、町と郊外。色んな地域で抱えている問題は様々だと思います。そういう中でその地域感を考えた時に、私はこのキーワードを1つとっても様々な意見が出るだろうし、集約しにくいのではないかなと感じます。

委員 先ほど高校生の参画が見えない、との意見がありましたが、前回の総合計画にも、高校生や、徳島文理大学の学生の参画がほとんど見えていませんでした。私自身は、今年の夏に、ゼミ生と、高校生向けのまちづくりワークショップを開催してみようかと計画しています。開催地域にさぬき市は入れていませんでしたが、もしご協力いただけるのであれば、高校生ワークショップをさぬき市でもやらせてもらいたいと思います。そうすれば、高校生の意見は高校生ワークショップで集め、18歳以上の意見は市民アンケートとふるさと未来会議で集める。いかがでしょうか。

また、プラン1か2のどちらかを選んでほしいということについては、このふるさと未来会議をやる目的によると思います。例えばプラン1であれば、市民の気づきであったり、市民同士の交流ができると思います。プラン2になれば、ただ単に市長や担当部局長、議長に意見を申し上げる、そういう風な会議、会になるのかなと思います。ふるさと未来会議をやるそもそもの目的によって自ずと決まってくると思います。

事務局 地域間の問題については、さぬき市を広いと捉えるか、狭いと捉えるかで大きく変わるとしています。

ふるさと未来会議では、テーマの実現に向って話していただくことが最終的な目標です。このときに、話合いのキーワード、きっかけはなにかと考えた時に、市の課題に基づく内容がいいと考えました。働き口や、この荒廃農地をどうするのかというような、いわゆる第一次産業を含めた産業の課題。高齢化や少子化が進む中でどのようにまちづくりを考えていくのか、という視点での福祉の課題。地域の皆様方がどのように地域参画していくのかという地域活動についての課題。子ども達はもとより生涯を通して学ぶためにどのようにしていくのかという教育の課題。思いつく範囲で、市民の皆さま方に身近で、かつ一緒に考えていかななくてはいけないものではないのかな

という内容を、大ざっぱではありますが4つに絞りました。キーワードの中に「その他」を入れることも検討しましたが、あまりに大ざっぱな印象を与えるのではないかと考え、4つにした次第ですが、その他で、何かありましたらご意見をください。

当日ですが、各グループの中で違う意見が出てきたら、コーディネーターに対処いただきます。地域特有の課題は確かにあるかもしれませんが、地区が違って、同じような課題があり、何かしら共通項が見つかるのではないかと考えています。

そして、高校生・大学生についてですが、高校生ワークショップについては、委員の皆さまに賛同いただけるのであれば、香川大学にお任せしたいと思います。開催いただけるようになれば、ふるさと未来会議についての対象年齢は18歳で行います。大学生については文理大学にも声かけし、(参加対象者を)高校・大学生にすることも可能かどうか考えていきたいと思っています。

最後に(ふるさと未来会議の)開催目的ですが、(プラン1・2にかかわらず)市民アンケートだけでは把握できない意見やアイデアを総合計画に反映させるとともに市民参画のまちづくりの機運を高めるために開催するものです。

#### 事務局

少し補足ですが、(ふるさと未来会議の)キーワードの4つ、産業・福祉・地域活動・教育ですが、(これらは)市民の皆さんの生活に直接関わりがある部分であり、市の政策として、今後間違いなく重要となる内容と考え、この4つを選びました。もし、その他というもので、「これはどうだ」というものがあれば、取り入れることも考えますし、また市民から返ってくる参加希望調書の中に「こんなものはどうですか」という提案があり、もしそれがいくつか重なれば、その提案を取り上げることも検討したいと考えています。

それともう1つ、地域の話ですが、(会議を)地域別に開催してはどうかという話もあるにはありました。さぬき市として合併して10年経過しているのですが、(委員が)言われたように、海側の地域、山側の地域、特に人が減って困っている地域など、地域の状況は、やはり確かに違います。(ふるさと未来会議とは)直接関係ないのですが、皆さんご存知だと思いますが、市では、平成23、24、25の3か年をかけて、地域まちづくり活動事業を行い、小学校区の方々が、自分達で自分達のまちをよくするためにはどうしたらいいかという事を考えていただいて、その中で今一番何が必要かということ市に提案いただき、それが通常の政策の中ではできない内容であれば、ある程度一定のルールで補助金を配分する制度を作っています。そういった内容で、地域に合ったまちづくりというものも応援しています。とはいうものの、地域の意見を集約できる単位は、やはり自治会なり、支会、となっていくと思います。(その単位を超えた)地域特性に応じた必要な内容については、例えば(総合計画策定に係る)取組の中では、各課団体ヒアリングやSWOT分析、施策評価の中で、所管課などから現状や要望を聞き取りたいと思います。

#### 委員

決して、4つキーワードを否定するつもりはないのですが、ただテーマを見た時にすごくいいテーマだなあと思って、住みたくなる住み続けたくなるさぬき市を目指してという事なので、逆に、参加した方に、どんなまちだったら住みたくなる住み続けたくなるのかな、ということ聞いてみたいと思いました。そして、(市民の意見を集めた)その結果、この4つなりに集約されていくのかなあイメージしたので質問した次第です。

あともう1つ、どうしても、合併した分、ついつい、町が、市全体が、というふうな事になってしまう。それぞれ(の町が)抱えている問題がある中で、一律にやらなければいけないこともあると思いますが、全ての面において一律ではなくて、その地域の特徴を生かした総合計画を考えてもいいのではないかと考え、意見を述べさせていただきました。以上です。

委員 プラン1と2がありますが、女性団体連絡会では、市長との意見交換会を3年間続けて行っています。1年目は、100人くらいで開催して（参加者が）多すぎたので、2年目からは午前中に30人、午後30人で開催していますが、質問して答えると、ものすごく時間がかかります。（意見交換会は）2時間ですが、事前に何個か質問を提出していても（2時間で）終わらない。1つの質問に色々と話が出たら、その質問だけになってしまう。（プラン2で）市長なりに回答してもらおうのであれば、質問者としては納得したいと思うし、周りの人も納得したいと思う人もいます。でも、他の方は、参加してもただ座って（質問もせずに）聞いているだけになると思うので、自分が参加したという気持ちにはならない。開催側としては、プラン1の方が難しいかもしれませんが、（プラン1）のほうがいいんじゃないかなと思います。

委員 会場は市役所ですか？もう少し中央付近は無理ですか？

事務局 開催規模などによって決めますので、市役所会議室には限定していません。

委員 （プラン1で）分科会をするならば、希望をとってもいいと思います。申込みする際に、私は何の分科会に行きたいとかいう希望を書く欄とかあるといいですよ。第2希望くらいまで。そうしてくれれば、分科会の人数が、ある程度平等になるかもしれません。

事務局 （プラン1で）参加いただく方には、事前に送付する開催案内に、どの分科会に入りたいのかを事前に聞いて、（事務局で）グループを作っておきたいと考えています。

委員 講演会というのはどんなイメージですか？

事務局 固く言えば基調講演です。9月29日には子ども未来会議が終わっているので、子どもたちが話し合った内容は（講師に）事前にお伝えし、講師自身がさぬき市で過ごしたときの想いも含めて40分から50分程度で講演いただき、参加者に、さぬき市のまちづくりをみんなで考える気持ちを高めて分散会に挑んでもらうというイメージです。

委員 私自身もなんとなくですが、市民参加っていう事を考えると、プラン1の方がいいかなあっていう風に思います。ただ、コーディネーターの手腕が問われるでしょうね。参加者が100人だとコーディネーターは大変だと思います。分散会によって多い少ないはいいとは思いますが。

プラン1は、みんなで夢を語る場になると思います。まちづくりは、やっぱり面白くなければ参加してもあんまり長続きしないですし、どこまで実現するかわからなくても、やっぱり「夢」がある場の方が参加しても参加意識は高まりますし、この会議が終わって、次、実際に自分達が動きだそうっていう事にも繋がっていく可能性もあると思います。ですから、夢があるというところちょっと軽く聞こえるかもしれませんが、そういう講演会であり、そういうワークショップみたいなほうがいいんじゃないかなあと思います。プラン2になると、例えば福祉にしても地域活動にしても、例えば、「あの補助金はどうなっているんだ」といった、意見でなくて苦情の話になる可能性がある。そりゃ夢もあるだろうけども、それでいいのかなあという気がしたんです。

委員 私のように他県から初めて四国にきた人間にとっては、ここのさぬき市がどんなに素晴らしいものかなあってということが、元住んでいた所とさぬき市を時々行ったり来たりしている中で、その良さを自分がすごく感じているのに、さぬき市から出た事がな

い方々のお話しをお聞きすると、「いい所ではない」って、がっかりして言う方もいらっしゃいます。どうしてだろう、って思うので、市民同士で、いや違うわよ、こういう所がいい所があってすごく心豊かに生活している人達だっていっぱいいますよ、っていうことを聞く事によって、改めて、あ、そうなのかなって思うと思います。そして、じゃあやっぱりここにあるこんないい物を全国に展開してみよう、とか、色んな発想に転換できればいいと思います。昨日、テレビを見ていたら、農業は第3のキーポイントだって、I Tを使って農業を活発化していきましょうっていう情報もあったので、ぜひ（ふるさと未来会議の場で）良さをもう一度見直せたらいいんじゃないかなって感じました。以上です。

委員 ホントにおっしゃる通りだと思って聞いていましたけど、ずっとさぬき市に住んでいたらさぬき市の良さが段々と見えなくなっていると思います。どちらかというと卑下して、そんな事ない、とか言うような事をよく聞く。もっと自分が住んでいる所に愛着心をもつという事がすごく大事なんで、私もやっぱりどちらかといえば、基本的には自立するという前回の計画にもありましたけど、それがやっぱり一番大事かなと思います。それにはやはり一人でも多くの住民を巻き込んで参加して、色んな意見を集約していく事が大事かなと思います。確かにちょっとプラン2では、声の大きい人だけの糾弾会になる恐れがあるかなと思いますので、やっぱりこの目的の主旨といえば、私もプラン1の方がいいかなという風に思います。

委員 キーワードについて、これだけ災害災害って言われているので防災のようなものを加えてみてはいかがでしょうか。

委員 防災については、総合的に言えば地域活動の中に入っていて、市がやるのではなくて、地域が（地域を）守らんといかん、という意識が必要だと思う。（防災を）別枠で作ったら、またそれこそ長い討論になってしまう。

会長 今、話し合おうとしているのはプラン1にしようか2にしようかという話です。皆さんの意見聞くと、住民の意見が尊重されるのは1だと。プラン2だと予算のような質問が出てくるんじゃないかというような心配がある。

審議会としては、キーワードとか参加される方とか場所とか、委員の方の意見もできるだけ反映していただきながら、通常的には確かに難しいプラン1で開催するようお願いしたいと思います。委員の皆さまよろしいですか。

委員 <異議なし>

会長 それでは、市民アンケートの調査について、事務局、説明をお願いします。

事務局 <説明>

会長 では、意見をお願いします。

委員 現在のまちづくりについての質問ですが、これはどこに印を入れるのですか？

事務局 各項目、満足度、重要度に1つずつ○をつけてもらいます。

委員 質問の量が多いですね。特に、現在のまちづくりについての質問は見ただけで、次の項目にいきたくなくなる。必要な質問だとは思いますが。



- 委員 回答は出しますけど、なかなかこれだけの文を読んで○入れるのは大変だと思う。大変とか言うたらダメだとは思いますが。
- 事務局 現在のまちづくりについての質問は、若干後ろのページに移動させて、ここまで回答したから全部やっちゃうぞ、っていう気持ちで取り組んでいただく。
- 委員 そういうのも案だと思う。いきなりこれが1ページ目にきていたらまず答えないだろう。
- 委員 (回収率をあげるなら) 極端な話、自治会長に各戸に取りに行ってもらうのが一番いいと思います。
- 委員 このアンケートの用紙、いくらか民協にいただけないでしょうか。会長会でこういうアンケートがまわるから説明をして下さい、と、会長あたりに事前に渡しておこうと思います。こういう用紙がまわってきてお年寄りが困っていたらなんとか手伝ってあげて下さいね、ってアドバイスできると思います。
- 委員 自治会長にもお知らせしますので、こちらにもいくらかください。
- 事務局 わかりました。
- 委員 冒頭ページの質問は、これまでのアンケートと同じものをお使いになっているとおっしゃっていましたが、全く一緒ですか？
- 事務局 言葉づかいを一部変えています、内容は一緒です。
- 委員 もし可能であれば、言葉づかいも一緒にされた方が厳密に比較できると思います。また、幸福度調査は、さぬき市が作ったのですか？
- 事務局 内閣府の調査をベースにしていますが、さぬき市として作り直し、初めて調査します。
- 委員 まるまる引用すれば、結果を正確に比較できるのでいいと思いますが。あと現在のまちづくりに関する質問は、無効回答が出るのは覚悟で一番後ろにもっていくほうがいいと思います。可能であれば、全部はずす。多分、誰が見たって量が多い。例えば企業誘致と工業振興なんて、多分答えられない。おそらく、どちらでもない、しか○がつかない可能性がある。だから、結果として、無効票に近いどちらでもないが増える。それでもいいんだったら質問すればいいですけども、場所は後ろにもっていくって、良かったら答えて下さいみたいな方がいいと思います。
- 委員 現在のまちづくりについてお尋ねしますっていう項目ですが、10年間の計画を実施してきて、10年前はこうだったんだなって改めて見直すときに、もしかしたらこれが必要になるんじゃないかなって思います。
- 委員 私も同じ意見です。せっかくアンケートするんだから、自分が幸せかどうかを聞くだけではだめだし、やっぱりこのさぬき市をどうすれば良いかという事を聞かないといけない。まちづくりの重要性について尋ねないもったいないですよ。

委員 取組の優先度などをお訪ねします、という質問ですが、道路の優先順位だとか、これに答えてもらってどうします？市政に活かすのですか？

事務局 市のまちづくり全般についての質問以外にも、今回は、もう少し踏み込んだ、具体的な施策についてのご意見を伺いたいと思って入れました。例えば道路の優先順位についてであれば、さぬき市内の道路走っている時に市民の皆さまが、もう十分整備されているからこれからは修理に力を入れてよって思われているのか、それとも、もっと幹線道路を、とか、狭い道路をもっと拡張してよと思われているのか、そのような日常の声を回答いただき、取組を進める際の参考にしたいと思って質問に取り入れた次第です。

委員 交通手段の確保に関する項目に、コミュニティバスを入れて下さい。

事務局 検討します。

委員 文字も検討してください。優しい明朝体などいかがでしょうか。

委員 将来、比較に耐えられるデータをとるためにも、アンケートにしっかり答えてもらえるように見やすさを検討ください。枠内の文字のゆとりも必要です。

事務局 検討します。

会長 それでは、各委員の意見を反映して、よろしくお願ひしたいと思います。事務局、その他で連絡はありますか。

事務局 <事務連絡>

事務局 事務連絡ではありませんが、会の冒頭で話がありました香川大学の学生にふるさと未来会議などの運営に協力いただくことについて、委員の皆さまのご意見を伺わせていただきたいと思いますが、会長、いかがでしょうか。

会長 いいと思います。これからは担う人を取り込むことは大切だと思います。

委員 どういう場面で参加いただけますか？

委員 審議会は正式な会議なので、参加させるイメージはないです。傍聴くらいだと思います。例えば、さきほど少し提案させていただいたワークショップであったり、それらがきっかけとなって、地域で活動するようになったときに、学生をぜひ参加させていただきたいと考えています。徳島文理大学の学生ともなにかできればいいと思っていますし、(総合計画の策定に携わることをきっかけに) 学生が学びの場としてさぬき市にこさせていただく。そして、地域に何か還元できるものがあったら還元させてもらう、そういうイメージです。短期間ではなく、長期間で関わらせていただきたいと考えています。

話は少し変わりますが、事前に渡された総合計画を読ませていただきましたが、正直いいますとあんまりおもしろくない。委員だったから皆さん読んでいただけで、市民は多分読まないと思います。例えば、せっかく作るのであれば、ひょっとしたら作っているのかもしれませんが、もう少しわかりやすい、かいつまんだポイントだけのダイジェスト版のような、市民に、読もうかと思わせるような何かをぜひ考えていた

だきたい。

委員 昨年、市の若い職員が何人か集まって研究されていたと思うので、テーマに加えてもらうのもいいかもしれませんね。

事務局 今年も同じような取組をしていますので、機会があれば（市民に読んでもらえるような総合計画の簡易版づくりを）紹介したいと思います。

委員 政策課が担当課ではありませんが、3月に実施したアンケートの結果は教えていただけないのでしょうか？

事務局 担当課に問い合わせ、次回の審議会で経過をお答えします。

会長 次回の審議会の日程等は、開催日が近づきましたら事務局から案内がありますのでできる限りぜひご参加ください。

以上で、第1回の会議を終了します。皆さんお忙しい中どうもありがとうございました。次回もどうぞよろしく願いいたします。

< 閉 会 > ( 11 : 10 )